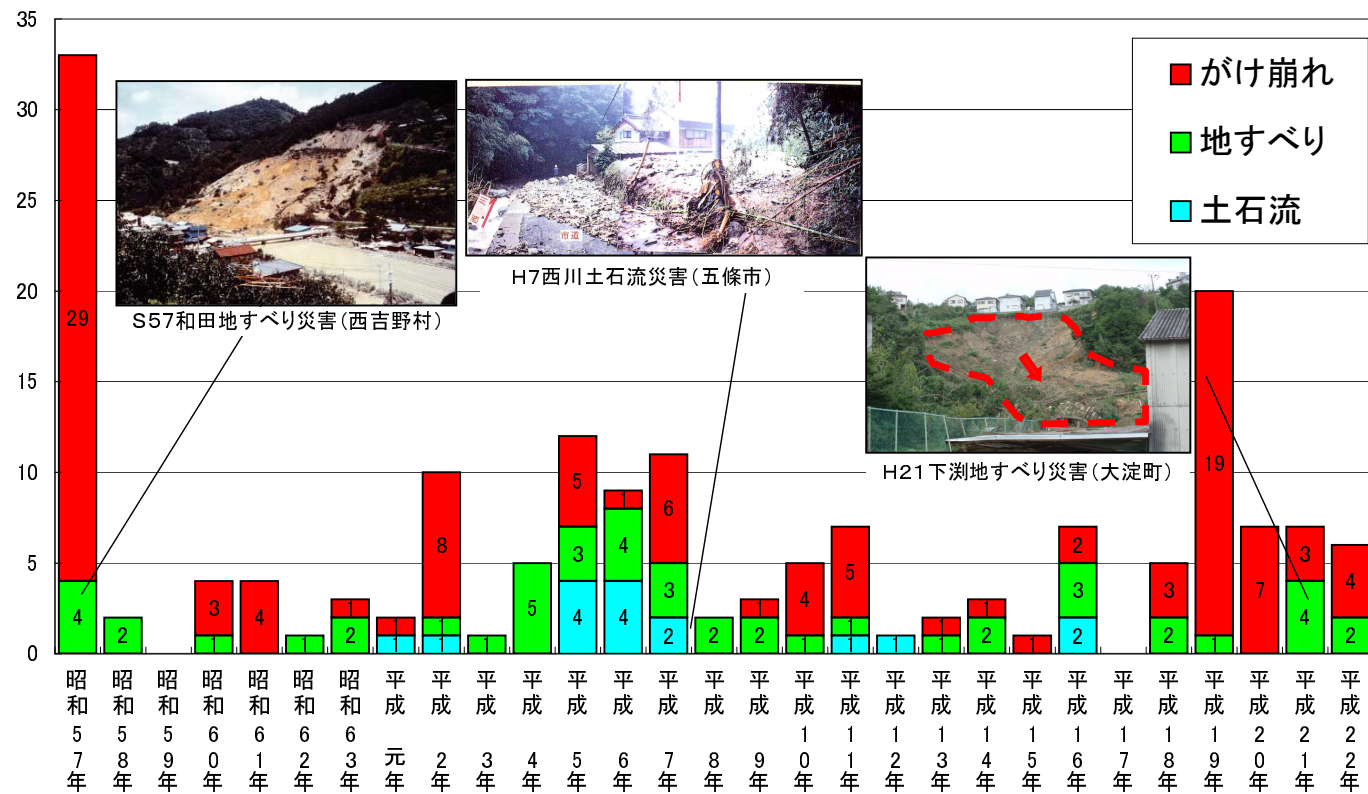


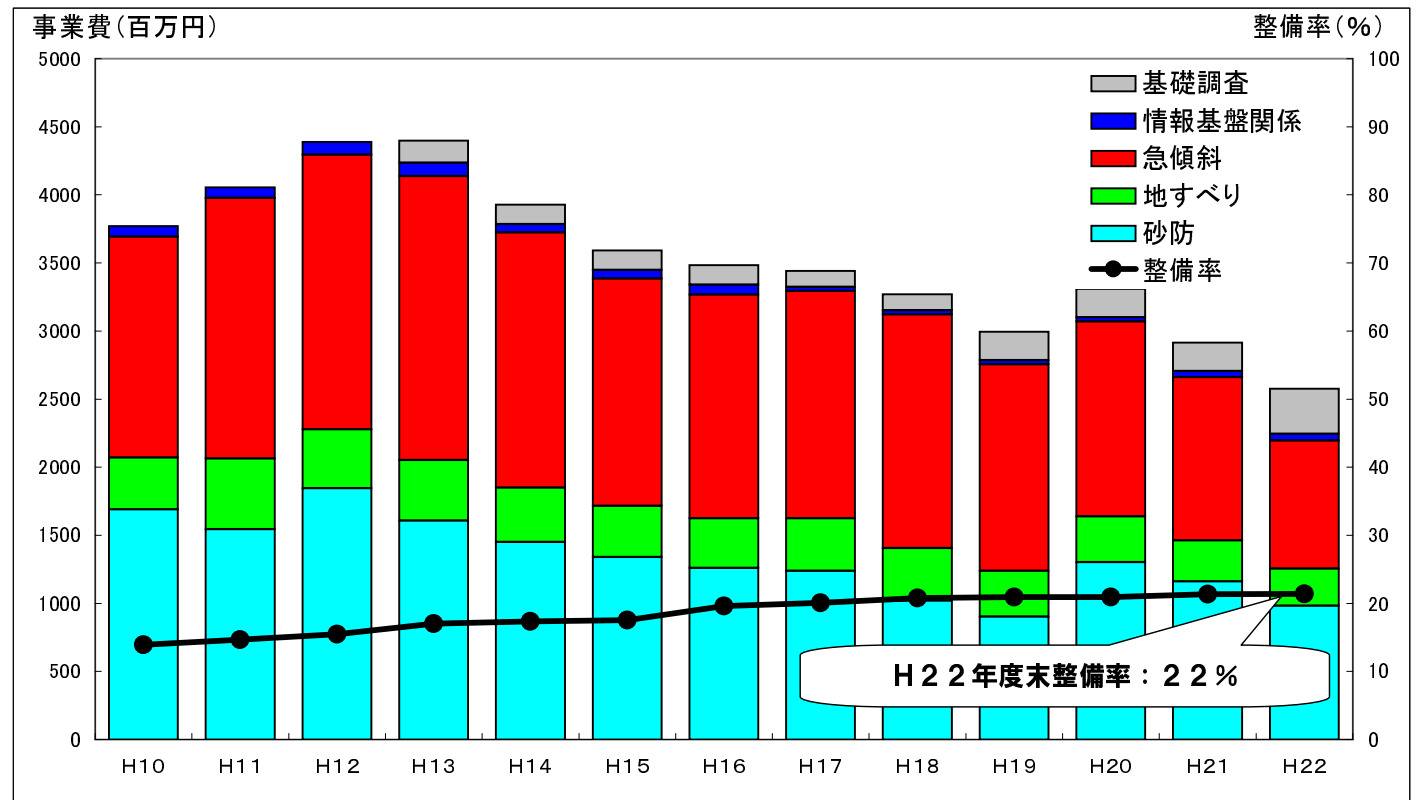
奈良県における土砂災害対策の現状

(平成23年3月末時点)

○奈良県における土砂災害発生状況



○砂防関係事業予算額(当初予算ベース)と整備率の推移

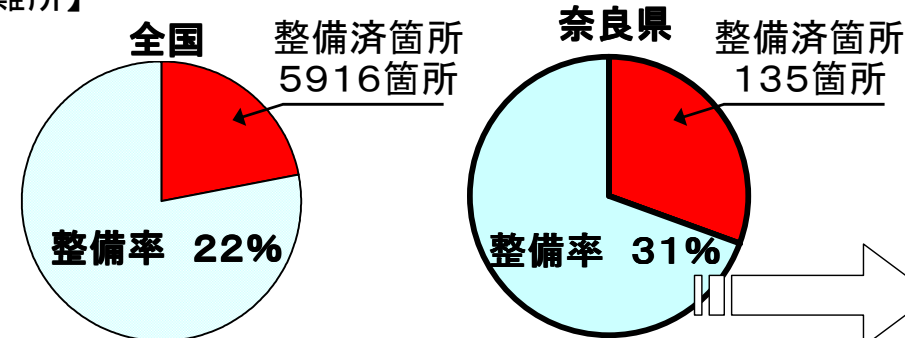


○土砂災害危険箇所の現状

区分	土砂災害危険箇所		
	土石流危険渓流	地すべり危険箇所	急傾斜地崩壊危険箇所
危険箇所			
危険箇所数	3,136 渓流	106 箇所	4,944 箇所
	土砂災害危険箇所 計 8,186 箇所		
施設整備対象箇所(要対策箇所)	1,136 渓流 ※人家5戸以上の危険渓流	106 箇所	1,289 箇所 ※人家5戸以上の危険箇所 ※自然斜面
	2,531 箇所		
整備箇所数	138 渓流	36 箇所	370 箇所
	544 箇所		
整備率	12 %	34 %	29 %
	22 %		

○防災上重要施設(避難所、災害時要援護者関連施設)の保全状況

【避難所】



対象箇所: 27039箇所

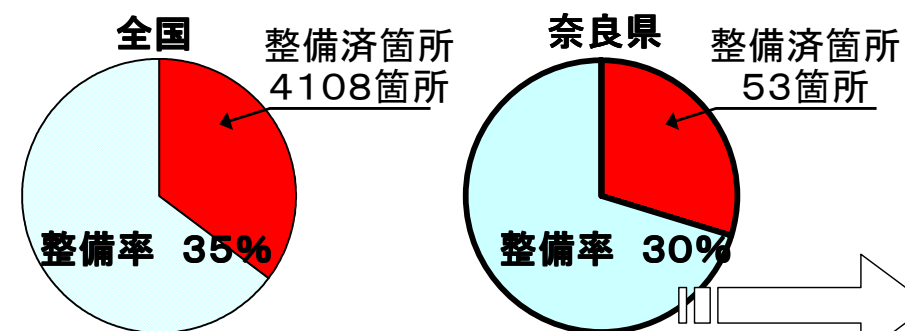
440箇所

優先的に保全する避難所
・”代替性のない避難所”を市町村協議により抽出

41箇所

※概ね5箇年で保全予定

【災害時要援護者関連施設】



対象箇所: 11611箇所

179箇所

優先的に保全する施設
・”24時間入居者のいる施設”を抽出

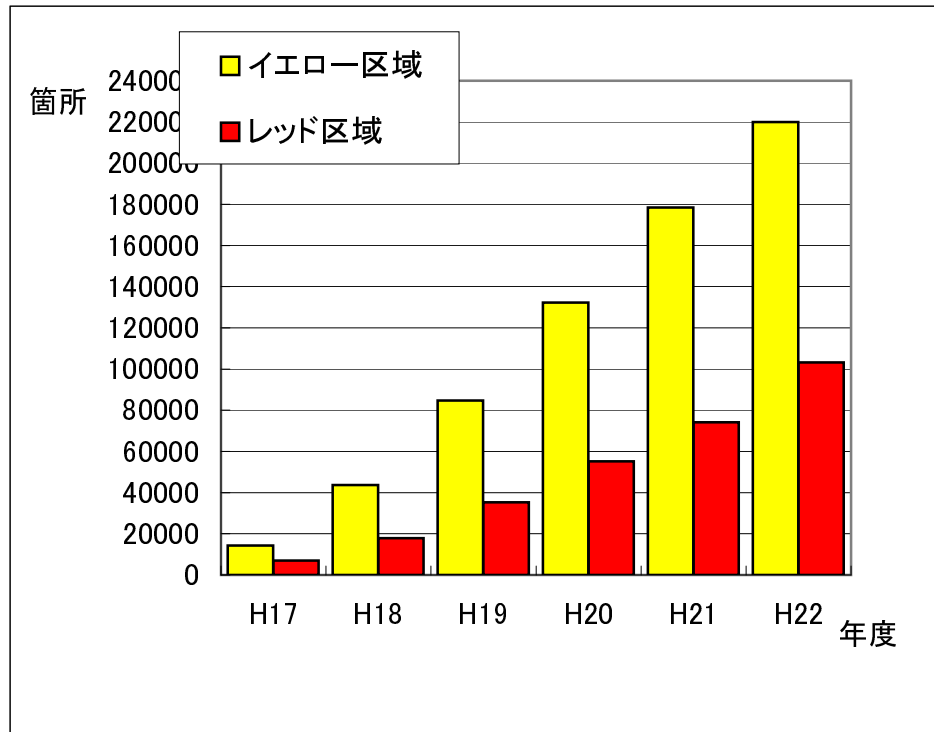
20箇所

(内5箇所は保全済)
※概ね5箇年で保全予定

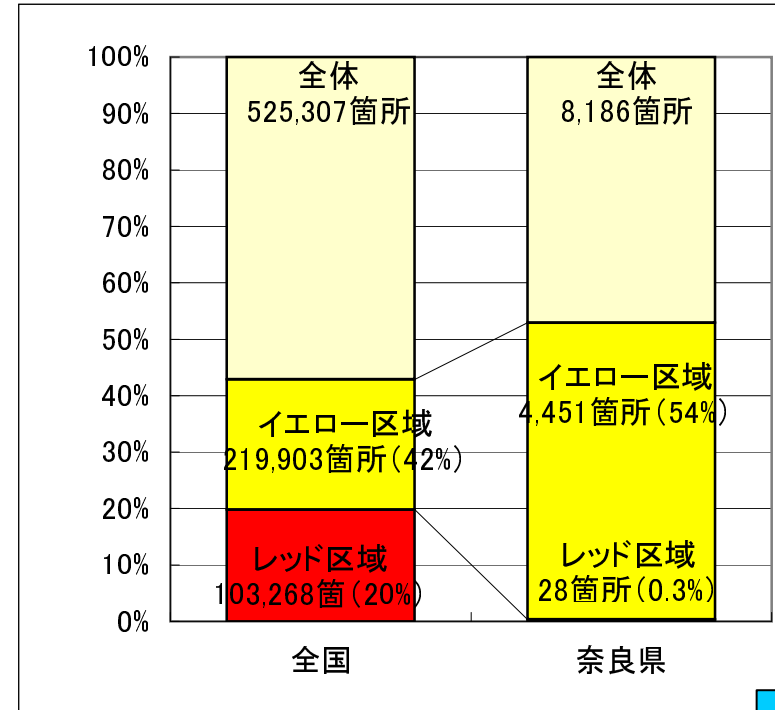
奈良県における土砂災害対策のソフト対策の現状と今後の目標

(平成23年3月末時点)

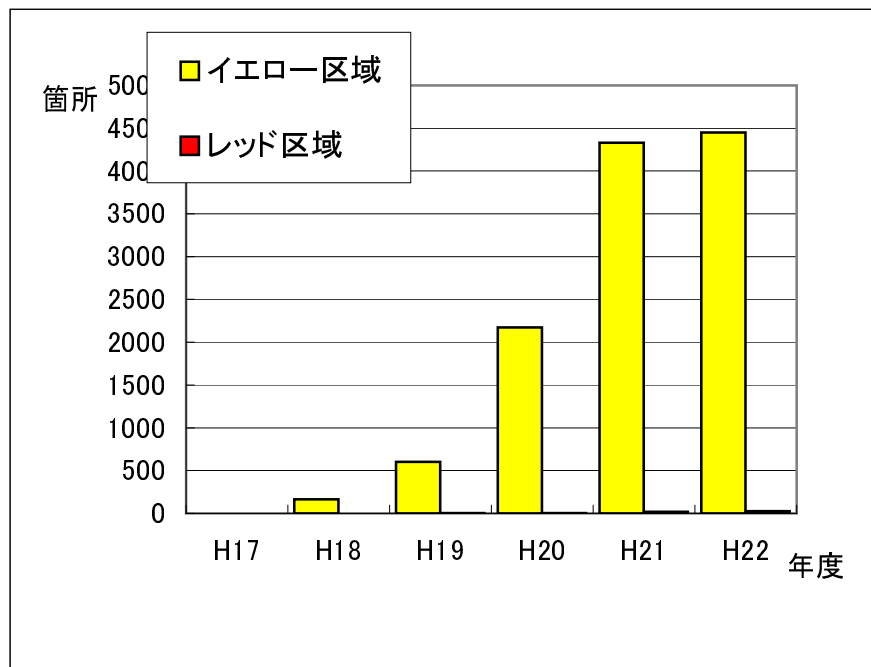
● イエロー区域等の指定状況と今後の目標



全国の区域指定の推移



全国と奈良県の区域の指定の状況



奈良県の区域指定の推移

【従前の指定の方針】

- イエロー区域の指定を先行し、地域の警戒避難体制の確立を優先
- レッド区域の指定はイエロー区域の指定完了後に移行する

【今後の方針】
イエロー区域に併せ**レッド区域の指定**を進め、危険な箇所への新たな開発抑制を図る

レッド区域の指定目標

0.3% (H21年度) → 15% (H25年度)

